

光市記者発表資料

令和4年7月19日

件名

「第17回 平和の鐘を鳴らそう イン ひかり」の開催について

内容

光ユネスコ協会では、標記事業を下記のとおり開催しますので発表します。

記

- 1 趣旨 別紙参照
- 2 日時 令和4年7月21日（木）9時00分から
- 3 場所 長安寺（光市室積東ノ庄20-15）
- 4 主催 光ユネスコ協会
- 5 次第
 - (1)開会のことば
 - (2)ユネスコ会員綱領唱和
 - (3)主催者あいさつ
 - (4)来賓等あいさつ
 - (5)わたしの平和宣言&平和祈念の鐘
 - (6)ユネスコの歌
 - (7)閉会のことば

◆問合せ◆ 光市教育委員会 文化・社会教育課文化振興係（事務局）
担当：植木 恭輔
（0833）74-3607

令和4年7月21日

《第17回 平和の鐘を鳴らそう イン ひかり》

光ユネスコ協会

会長 矢野 浩

<事業の趣旨>

2000年、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が提唱し国連が定めた「平和の文化国際年」では、戦争や争いがない21世紀をつくっていくために私たち一人ひとりができることから行動していくことを呼びかけました。さらに2001年から始まった「世界の子どもたちのための平和の文化と非暴力の国際10年」は、これからの世界を担う子どもたちに地球環境破壊まで含む全ての暴力を否定し平和をつくっていかうと呼びかけています。

また、日本ユネスコ協会連盟では、2000年、「平和の文化国際年」のキャンペーン事業として様々な運動を行いました。中でも「平和の鐘を鳴らそう」への反響は大きく、この盛り上がりを受けて日本ユネスコ協会連盟では、2003年度から本事業を「世界の子供たちのための平和の文化と非暴力の国際10年」の主要事業と位置付け、特に子ども達を対象にしてこの運動を広げていくことにしました。

こうした中、光ユネスコ協会は、長安寺様のご協力を得て、音による“平和への祈りと願い”を表現することを目的に「平和の鐘を鳴らそう イン ひかり」を実施いたします。

光ユネスコ協会は、改めて「平和」への決意を固め行動を起こすべく、今、ここに「わたしの平和宣言」を紹介し、“平和祈念の鐘”を鳴らします。

《第17回 平和の鐘を鳴らそう イン ひかり》

- 1 開催日 令和4年7月21日(木) 9:00～
- 2 会場 長安寺(光市室積東ノ庄20-15)
- 3 次第
 - (1) 開会のことば
 - (2) ユネスコ会員綱領唱和
 - (3) 主催者あいさつ
 - (4) 来賓等あいさつ
 - (5) わたしの平和宣言&平和祈念の鐘
 - ① 「すべての人の生命を大切にします」
 - ② 「どんな暴力も許しません」
 - ③ 「思いやりの心を持ち、助け合います」
 - ④ 「相手の立場に立って考えます」
 - ⑤ 「かけがえのない地球環境を守ります」
 - ⑥ 「みんなで力を合わせます」
 - (6) ユネスコの歌
 - (7) 閉会のことば

ユネスコ会員綱領

世界の平和と人類の幸福を永遠なものにすることは、ユネスコの理想である。これは人間の知的・道義的連帯の上にもみ築かれるものである。われわれは、この理想を実現するためにユネスコ会員綱領を定め、日常の規範として、これを守ることを誓う。

1. 心の中に平和の守りを固めよう
1. すべての人間の尊厳を重んじよう
1. 教育・科学・文化の発展に務めよう
1. 民族間の疑惑と不信をのぞこう
1. 世界を友愛と信頼のきずなで結ぼう

ユネスコの歌「手に手をとって」

世界じゅうのひとたちが
みんな 手に手をつないだら
世界は 日の照る まひるになる
みんな 花輪をつくったら
花輪と花輪を むすんだら
ぐるぐる まわる 輪になって
ひろい地球を かこんだら
世界は あかるい 苑になる
ああ ユネスコ ああ ユネスコ